



C740 ユーザーマニュアル

リリース v1.0.0

2026-06-27

目次

1 システム設定	4
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り	4
1.2 工場出荷時設定にリセット	4
1.3 作業モード	5
2 電源管理	6
2.1 睡眠時間を読む	6
2.2 睡眠時間を設定する	6
2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する	8
3 情報プロンプト	8
3.1 ブザー制御	8
3.2 振動モーター制御	9
3.3 ブザー音の定義	10
3.4 インジケータライトの定義	10
4 有線モード	11
4.1 USB 送信方法	11
4.2 USB キーボードの送信速度	12
4.3 USB HID マルチキー送信設定	13
5 ワイヤレスモード	13
5.1 インターフェイス設定の読み取り	13
5.2 無線伝送方式	14
5.3 2.4G ペアリング	14
5.4 受信機の動作モード	14
5.5 2.4G 送信キャッシュ	16
6 藍牙モード	17
6.1 インターフェイス設定の読み取り	17
6.2 藍牙送信方法	17
6.3 藍牙動作モード	18
6.4 藍牙名の変更	18
6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする	19
6.6 システムキーボードの機能	19
6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。	20
6.8 藍牙キーボードの送信速度	20
6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない	21
7 キーボード設定	22
7.1 HID Keyboard General Setting	22
7.2 キーボードの言語設定	29
8 キーボード言語	29
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る	29
9 データ編集	35
9.1 標準データ編集設定	35
9.2 拡張データ編集設定	42
9.3 端末文字設定	44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定	45
10 読書モード	46
10.1 バーコードデコード読み取りモード	46
11 MOD の設定	48
11.1 エンジン出力フォーマット	48
11.2 エンジン Code ID	49
11.3 バーコード設定	51
12 付録	75
12.1 文字検索テーブル	75

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り



ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定にリセット

注釈

「カスタムデフォルトの書き込み」が実行されている場合、「デフォルトの復元」はそれらのカスタムデフォルトを復元します。それ以外の場合は、工場出荷時のデフォルト値が復元されます。

重要

「工場出荷時のデフォルトに設定」は、すべてのカスタムデフォルトをクリアし、工場出荷時のデフォルトに戻します。



カスタムデフォルトを復元する



カスタムのデフォルト値を書き込む



工場出荷時のデフォルトを設定する

1.3 作業モード

i 注釈

データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

i 注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。



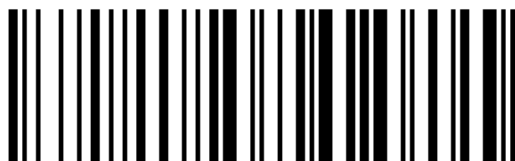
* 通常モード



ストレージモード



ストレージデータのアップロード



保存されているバーコードの総数を読み取ります



アップロード後にストレージデータをクリアする



ストレージスペースの使用状況を読み取る



保存されたバーコードをクリアする



* 自動ストレージモードが無効になっています



自動ストレージモードが有効になっています

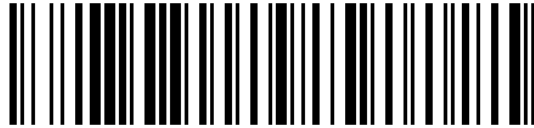
2 電源管理

2.1 睡眠時間を読む



睡眠時間を読む

2.2 睡眠時間を設定する



今すぐ冬眠します



1 分後に寝る



3 分後にスリープ (デフォルト)



5 分後に寝る



10 分後に寝る



30 分後に寝る



1 時間後に寝る



2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 コード読み取りデバイスのバッテリー残量を取得する



バッテリー残量を取得する

3 情報プロンプト

3.1 ブザー制御



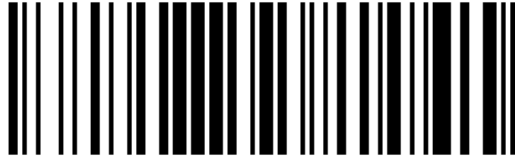
ミュート



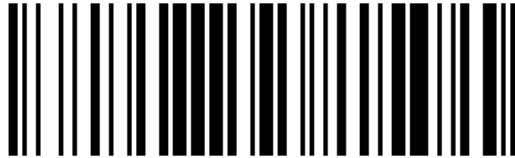
* 大音量



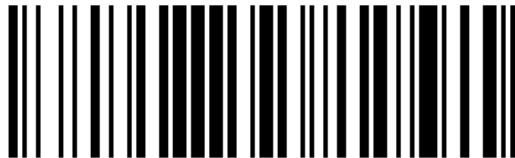
中程度の音量



小さい音量



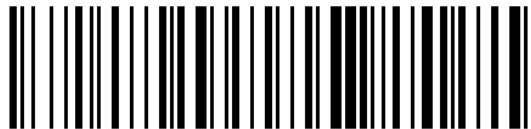
* 高音



低音



* SDK 音声応答が無効になっています



SDK 音声応答の有効化

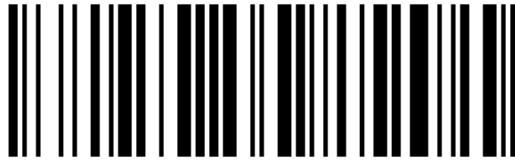


ベース接続ブザープロンプトスイッチ

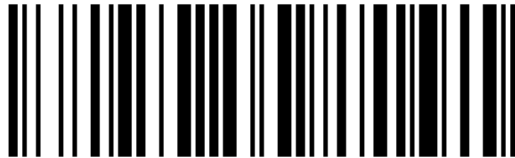
3.2 振動モーター制御

注釈

振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。



無効にする



有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	音声ファイル
ビーブ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	storage-mode.m4a、shutdown.m4a
ビーブ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	startup.m4a、wireless-setting.m4a
ビーブ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	one-beeps.m4a
ビーブ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	five-beeps.m4a

3.4 インジケータライトの定義

インジケータライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。蓝牙モードをサポートするモデルは、蓝牙接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

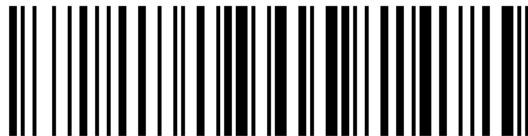
注釈

有線伝送をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

4.1 USB 送信方法



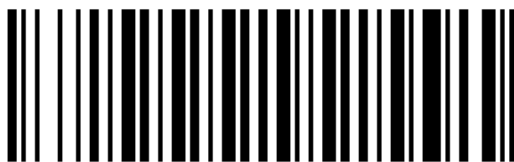
* USB キーボードモード



USB 仮想串口モード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、コード読み取りデバイスは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です



有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの藍牙送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。



* 最高速度



トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度



キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

i 注釈

このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。



USB HID マルチキー送信有効



* USB HID マルチキー送信は無効です

5 ワイヤレスモード

i 注釈

2.4G 送信をサポートするコード読み取りデバイスにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



2.4G 送信モード

5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



2.4G ペアリングを開始します



1 対 1 のペアリング



1 対 1 のペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。
ReceiverAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機



仮想シリアルポートとしてのレシーバー

注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバをインストールする必要があります。



キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。コード読み取りデバイスと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

重要

このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。



キーボードの読み取り速度

i 例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。



レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

i 注釈

無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

i 注釈

このコマンドは、この機能をサポートする一部のコード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュスイッチ

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュスイッチ

6 藍牙モード

注釈

藍牙機能を備えた RF+BT コード読み取り装置にのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り



現在のインターフェース設定

6.2 藍牙送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが藍牙であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。



藍牙送信

6.3 藍牙動作モード

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。

i 注釈

藍牙動作モードを切り替える前に、ホストとコード読み取りデバイスの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。



藍牙 HID キーボード (デフォルト)



藍牙 SPP シリアルポート



藍牙 BLE シリアルポート



藍牙基本送信モード

i 注釈

すでにペアリングされている藍牙ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 藍牙名の変更

新しい藍牙名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

6.5 藍牙 HID ペアリングをクリアする

藍牙送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、コード読み取りデバイスは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。



藍牙ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。



トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。



送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

i 注釈

このコマンドは、一部の藍牙コード読み取りデバイスにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



Windows Caps Lock 検出スイッチ

6.7 藍牙と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

i 注釈

このコマンドは一部の RF+BT コード読み取りデバイス (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、コード読み取り装置がシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

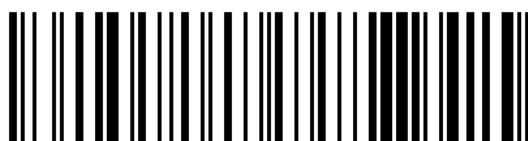


トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 藍牙キーボードの送信速度

i 注釈

藍牙モードでのみ有効です。



藍牙 HID 遅延の読み取り



高速 (2ms)



高速 (6ms)



* 中速 (10 ミリ秒)



中速 (18ms)



低速 (25ms)



低速 (30ms)

6.9 藍牙接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



藍牙接続ステータス非スリープスイッチ

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

注釈

このセクションの一般的な HID モード設定は、USB キーボード、RF2.4G キーボード、BT HID キーボードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定



* 結合キーオフ



Ctrl+ Key Config1



Alt+ Key Config2



Normal-Key Config3



Ctrl+ Key Config4



Alt+ Key Config5

i 注釈

only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定



普通



スワップケース



すべて大文字



すべて小文字

※ キーボード言語を ALT、TH に設定した場合、大文字と小文字の設定は適用されません。

Num Lock の設定



Num Lock が無効になりました



Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

i 注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D コード読み取りデバイスにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。



現在の文字セット設定を読み取る



自動



GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS



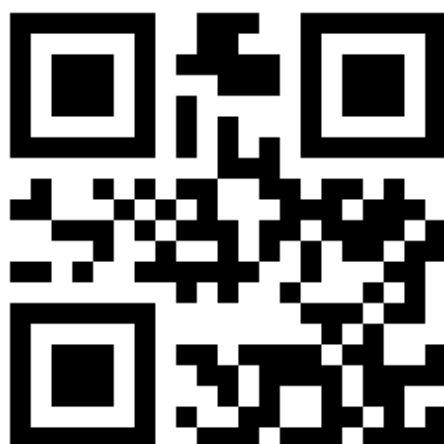
ISO/IEC 8859



UTF8 (ワード)



UTF8 (送信)



ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	コード読み取りモジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

受信デバイスの選択

注釈

このセクションは、さまざまな受信デバイスが ASCII 文字 (0x20 から 0x7F) を入力する方法を設定するために使用され、[鍵盤言語設定](#) と組み合わせて使用 する必要があります。



現在の受信デバイス設定を読み取る



Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

➡ 参考

キーボード言語設定は別のページ (鍵盤语言设置) に分割されました。

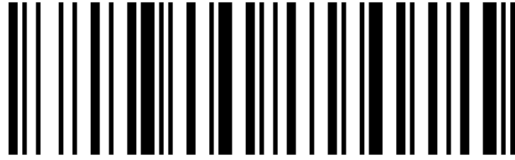
8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る



現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー



* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー



フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー



ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITItaly イタリアキー



イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー



ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー



スペイン語キーボード

L7 TR トウルキエトルコキー



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー

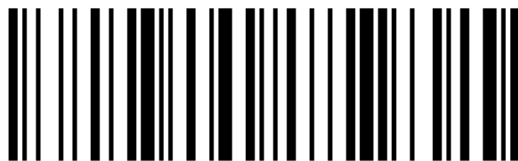


イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー



チェコ語キーボード



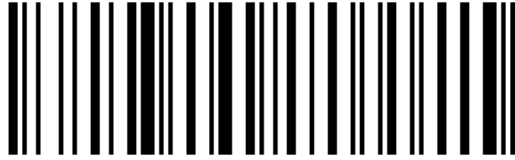
チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー



ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー



ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー



ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー



カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー



クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー



スロバキア語 QWERTY キーボード



スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー



デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー



フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー



ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー



オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー



ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー



ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー



セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー



スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー



スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー



スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本語日本語キー



日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

注釈

タイ語キーボードを使用する場合、コード読み取りモジュールも TH 出力に設定する必要があります。



タイ語キーボード

🔄 参考

参照ファイル: RF2.4G、藍牙設置 _ 中文、泰語、韓国.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

i 注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。



ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー



ALT 半角特殊文字キーボード

i 注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

➡ 参考

文字値については、[ASCII ファンクションキー文字比較表](#) および [ASCII 文字比較表](#) を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、[デジタル設定コード](#) をスキャンしてください。具体的な手順については、「[プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ](#)」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ~ FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

➡ 参考

文字を非表示にするプロセスについては、[バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順](#) を参照してください。

オペコード



プレフィックスを追加する



接尾語を追加



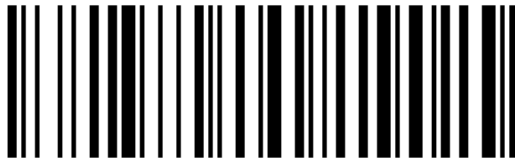
すべてのプレフィックスをクリアする



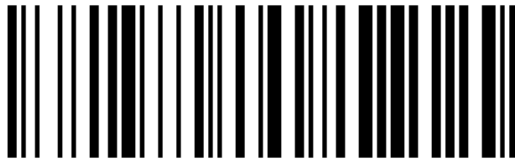
すべてのサフィックスをクリア



最初のバーコードの文字数を非表示にする



バーコード中央の開始桁を非表示にします



バーコードの途中の文字数を非表示にする



バーコードの末尾の文字数を非表示にする

デジタル設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応するデジタル設定コードをスキャンしてください。



デジタル設定コード 0



デジタル設定コード 1



デジタル設定コード 2



デジタル設定コード 3



デジタル設定コード 4



デジタル設定コード 5



デジタル設定コード 6



数値セットアップコード 7



デジタル設定コード 8



数値セットアップコード 9



デジタル設定コード A



デジタル設定コード B



デジタル設定コード C



デジタル設定コード D



デジタル設定コード E



デジタル設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。



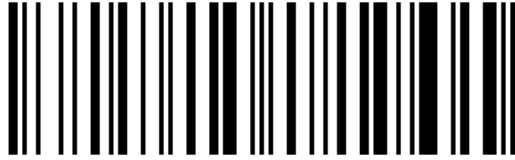
デフォルトの出力形式



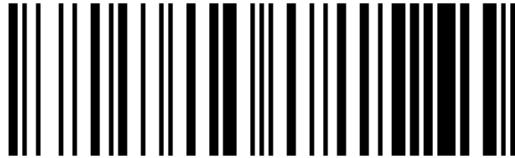
出力サフィックスを許可する



出力プレフィックスを許可する



バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます



バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます



バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は既存のサフィックスに追加されます。元のサフィックスを破棄したい場合は、「すべてのプレフィックス/サフィックスをクリア」をスキャンしてリセットしてください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. [ASCII ファンクションキー文字比較表](#) または [ASCII 文字比較表](#) に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして **Ctrl+A** を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

Ctrl+Alt+A をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、0、4 をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、0、C をスキャンします)。
3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

注釈

オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

バーコード先頭文字を非表示

バーコード中央文字を非表示

バーコード末尾文字を非表示

文字置換

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのコードシステムを示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

XX

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

注文	意味
\$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
\$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
\$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
\$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
\$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
\$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
\$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: \$DATA#70 + 被置換文字長さ + 被置換文字 + 置換後データ長さ + 置換後データ #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1~6 文字が 5~0 文字に置換されることがサポートされます。



置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

\$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。



文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

\$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。



文字置換操作: LF から CR

i 例

\$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

i 注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。



なし (デフォルト)



CR を入力してください



タブ文字 TAB



キャリッジリターンとラインフィード CRLF



改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。



生の形式 (デフォルト)



括弧を追加する



括弧を追加し、CR で区切ります。



括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読書モード

10.1 バーコードデコード読み取りモード



キースキャンモード（デフォルト）



連続スキャンモード

i 注釈

連続スキャンモードは、連続高速スキャンシナリオに適しています。トリガーボタンを押して、開始または停止をトリガーします。



キーパルススキャンモード

i 注釈

キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタマイズモデルにのみ適用）

i 注釈

ホストトリガーモードは一部のカスタマイズモデルにのみ適用されます。



バッチスキャンモード（一部のカスタマイズされたモデルにのみ適用可能）

デコードタイムアウト

このパラメータは、スキャン試行中にデコード処理が継続する最大時間を設定します。デフォルト: 3000ms、範囲: 0500 ~ 9999ms。



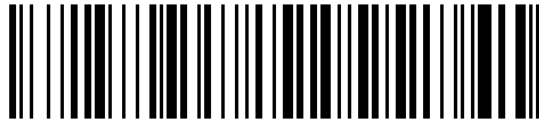
3 秒 (デフォルト)



6 秒

インターバル時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。デフォルト: 500ms、範囲: 0100 ~ 9999ms。



0.5 秒 (デフォルト)



1 秒

11 MOD の設定

11.1 エンジン出力フォーマット

ターミネーターの設定

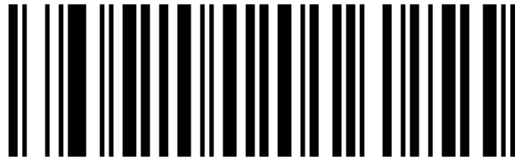
コード読み取りモジュールの使用中に、ユーザーは必要に応じて、対応するターミネータをコード読み取りモジュールに追加できます。



* キャリッジリターンを追加 CR



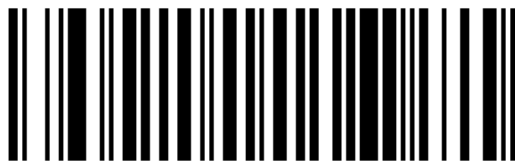
TAB



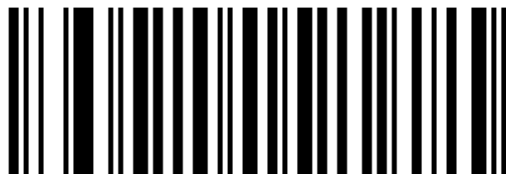
* 改行 LF を追加



CRLF を追加



2回入力してください



ターミネーターなし

11.2 エンジン Code ID

Code ID の設定

コード読み取りモジュールを使用する過程で、ユーザーは現在読み取っているバーコードのコードシステムを知る必要があることがよくあります。Code ID プレフィックスを使用して、バーコードタイプを識別できます。Code ID の対応コード体系については、[Code ID とコーディングシステムの比較表](#)を参照してください。Code ID はデフォルトでは表示されません。



* なし



バーコード ID を有効にする (旧)



バーコード ID を有効にする (背面)

Code ID とコーディングシステムの比較表

シリアルナンバー	Code ID コード	バーコードタイプ ID (プレフィックスとサフィックスを使用)	コーディングシステム
1		00/01	すべてのコード体系
2	A	02	Code 128
3	C	03	EAN-8
4	D	04	EAN-13
5	D	05	ISBN
6	E	06	UPC-A
7	F	07	UPC-E
8	I	08	Code 93
9	J	09	GS1
10	K	10	Omnidirectional
11	L	11	GS1 Limited
12	M	12	GS1 Expanded
13	N	13	Code 39
14	O	14	Interleaved 2 of 5
15	P	15	Industrial 2 of 5
16	Q	16	China Post
17	S	17	Matrix 2 of 5
18	T	18	MSI
19	t	19	Plessey
20	U	20	Telepen
21	V	21	Code 11
			Codabar

11.3 バーコード設定

セットアップ手順

各コードシステムには独自の固有の属性があります。この章のコード設定を通じて、コード読み取りモジュールを調整して、これらの属性の変化に適応することができます。「読み取りを許可」が有効になっているコードシステムが少ないほど、コード読み取りモジュールの読み取りが速くなります。コード読み取りモジュールのパフォーマンスを向上させるために、コード読み取りモジュールによる未使用のコードシステムの読み取りを無効にすることができます。

EAN/UPC エンコード設定

EAN-8

有効化/無効化



* EAN-8 を有効にする



EAN-8 を無効にする

チェックデジット送信

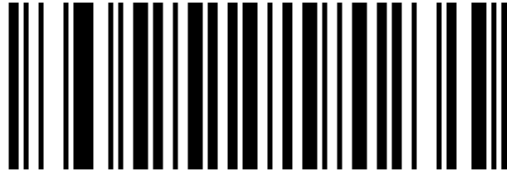
EAN-8 バーコードデータは8文字に固定されており、8番目のビットはチェックディジットで、8文字すべてが正しいことを確認するために使用されます。デフォルトではチェックディジットが送信され、ユーザーはチェックディジットを送信するか送信しないかを選択できます。



* チェックデジットを送信



チェックデジットが送信されませんでした



EAN-8 は先頭の文字を非表示にします

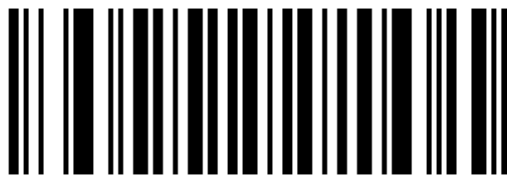


* EAN-8 は先頭の文字を非表示にしません

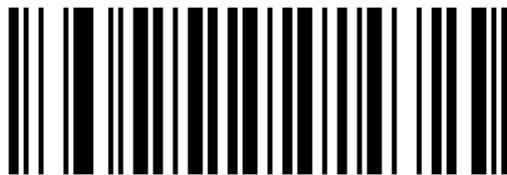
追加のコード読み取り



2 桁のアドオンコードを有効にする



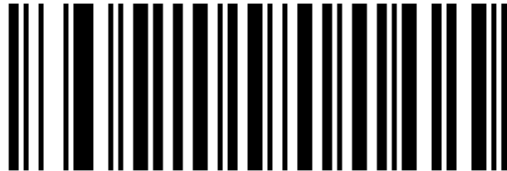
5 桁のアドオンコードを有効にする



2 桁および 5 桁のアドオンコードを有効にする



* 追加のコードを無効にする



追加のコードを強制的に有効にする

EAN-13

有効化/無効化



* EAN-13 を有効にする



EAN-13 を無効にする

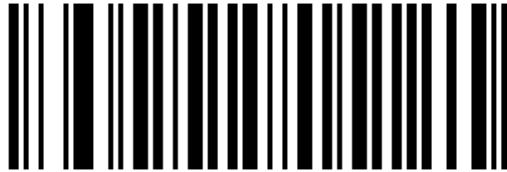
複数回検証する



UPC/EAN マルチ検証を有効にする



* UPC/EAN 複数認証を無効にする



*UPC/EAN セキュリティレベル 0



UPC/EAN Security Level 1

チェックデジット送信

EAN-13 バーコードデータは 13 文字に固定されており、13 桁目はチェックデジットで、8 文字すべてが正しいことを確認するために使用されます。デフォルトではチェックディジットが送信され、ユーザーはチェックディジットを送信するか送信しないかを選択できます。

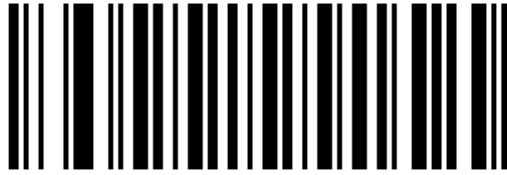


* チェックデジットを送信

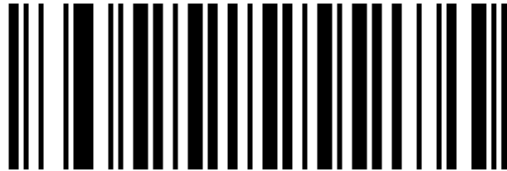


チェックデジットが送信されませんでした

主役のキャラクター送信

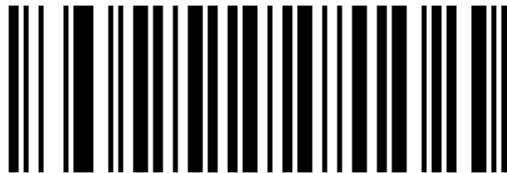


* EAN-13 は先頭文字を送信します



EAN-13 は先頭文字を送信しません

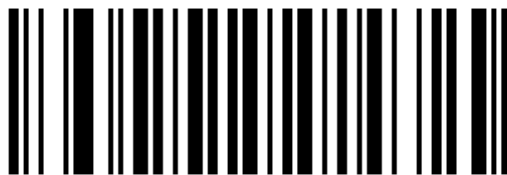
追加のコード読み取り



2 桁のアドオンコードを有効にする



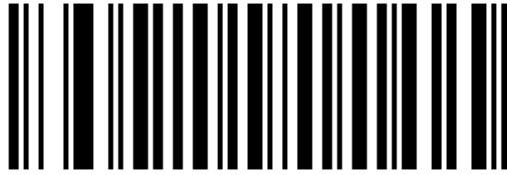
5 桁のアドオンコードを有効にする



2 桁および 5 桁のアドオンコードを有効にする



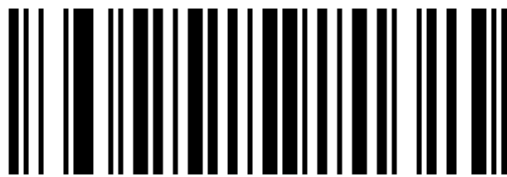
* 追加のコードを無効にする



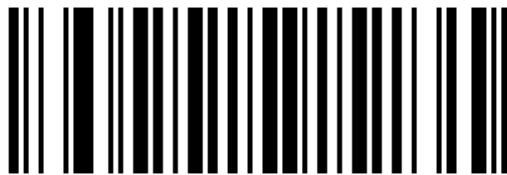
追加のコードを強制的に有効にする

EAN-13 から ISBN

ISBN は書籍コードであり、通常は 13 桁のデータが出力されます。EAN-13 を有効にして ISBN に変換すると、出力は 10 桁の ISBN コードになります。変換はデフォルトでは無効になっています。



EAN-13 を ISBN に有効にする



* ISBN への EAN-13 を無効にする

EAN-13 から ISSN へ

ISSN は雑誌コードで、通常 13 桁のデータが出力されます。EAN-13 を有効にして ISBN に変換すると、出力は 10 桁の ISSN コードになります。変換はデフォルトでは無効になっています。



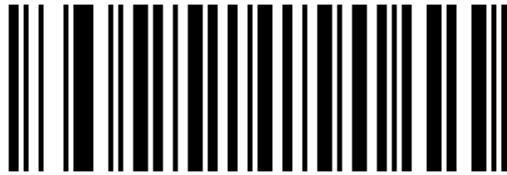
EAN-13 を ISSN に有効にする



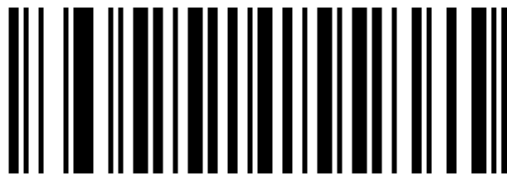
ISSN への EAN-13 を無効にする

UPC-A

有効化/無効化



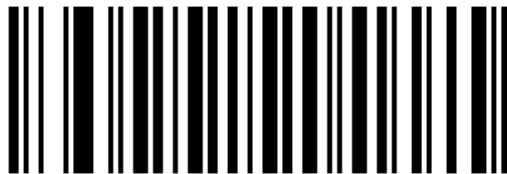
* UPC-A を有効にする



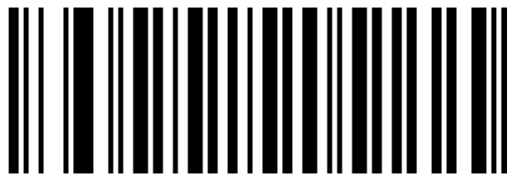
UPC-A を無効にする

チェックデジット送信

UPC-A バーコードデータは12文字に固定されており、12桁目はチェックデジットで、12文字すべてが正しいことを確認するために使用されます。デフォルトではチェックデジットが送信され、ユーザーはチェックデジットを送信するか送信しないかを選択できます。



* チェックデジットを送信



チェックデジットが送信されませんでした

主役のキャラクター送信



UPC-A は先頭の文字を非表示にします



UPC-A は先頭文字を非表示にしません

追加のコード読み取り



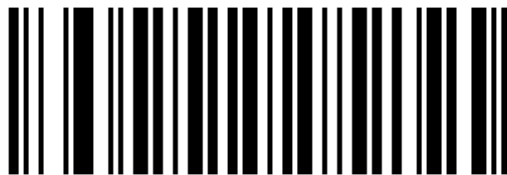
2 桁のアドオンコードを有効にする



5 桁のアドオンコードを有効にする



2 桁および 5 桁のアドオンコードを有効にする



* 追加のコードを無効にする



追加のコードを強制的に有効にする

UPC-A から EAN-13

ユーザーは、必要に応じて、UPC-A を EAN-13 出力に変換する必要があるかどうかを設定できます。デフォルトでは変換しません。



UPC-A から EAN-13 を有効にする



* UPC-A から EAN-13 を無効にします

UPC-E

有効化/無効化



* UPC-E を有効にする



UPC-E を無効にする

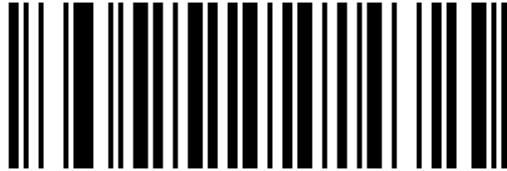
追加のコード読み取り



2桁のアドオンコードを有効にする



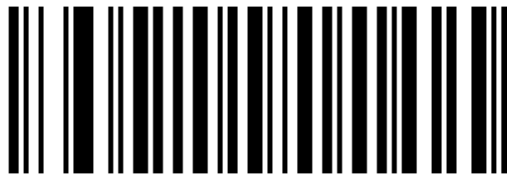
5桁のアドオンコードを有効にする



2桁および5桁のアドオンコードを有効にする



* 追加のコードを無効にする



追加のコードを強制的に有効にする

UPC-E から UPC-A

ユーザーは、必要に応じて、UPC-E を UPC-A 出力に変換する必要があるかどうかを設定できます。デフォルトでは変換しません。



UPC-E から UPC-A を有効にする



* UPC-E から UPC-A を無効にします

チェックデジット送信



UPC-E はチェックデジットを送信しません



UPC-E チェックデジットの送信

よく使う 1 次元コードの設定

Codabar (クーダバーコード)

有効化/無効化



* Codabar を有効にする



Codabar を無効にする

文字送信の開始と終了



Codabar の開始文字と終了文字を有効にする



* Codabar の開始文字と終了文字を無効にする



Codabar の最小長を 4 に設定します

パラメータの形式

0087hh

hh

Codabar の最小長を設定するために使用される 2 桁の 16 進数。

Code 11

有効化/無効化



* コード 11 を有効にする



コード 11 を無効にする

パラメータの形式

0128hh

hh

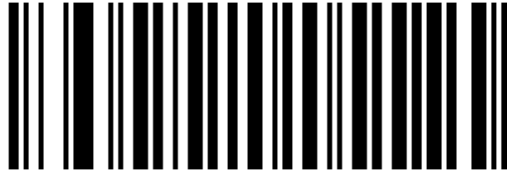
Code 11 の最小長を設定するために使用される 2 つの 16 進数。

Code 39

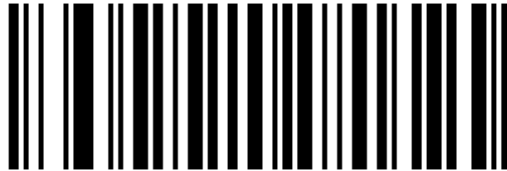
有効化/無効化



* Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする



チェックデジット送信

検証設定



Code 39 チェックを無効にする



Code 39 MOD43 検証を有効にする

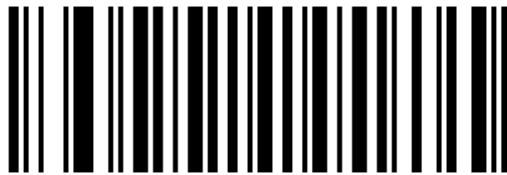


* Code 39 MOD43 チェックを無効にする

複数回検証する



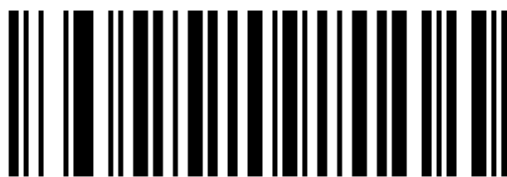
* Code 39 の複数の検証を無効にする



Code 39 の複数の検証を有効にする

文字送信の開始と終了

Code 39 バーコードデータの前後に開始文字と終了文字として「*」が存在します。読み取り成功後に、バーコードデータと一緒にスタートキャラクタとエンドキャラクタを送信するかどうかを設定します。



Code 39 開始文字と終了文字を有効にする



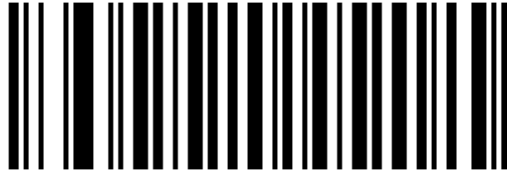
* Code 39 の開始文字と終了文字を無効にする

Full ASCII のサポート

Code 39 のエンコード方法には、すべての ASCII 文字の表現を含めることができます。設定を通じて、コード読み取りモジュールは、完全な ASCII 文字セットを含むバーコードをサポートできます。



* Full ASCII サポートを有効にする



Full ASCII サポートを無効にする

コード 32 の設定



* コード 32 を無効にする



コード 32 を有効にする



* Code 32 プレフィックス A を無効にする



Code 32 プレフィックス A を有効にする

Code 39 長さの設定



Code 39 の最小長を 1 に設定します



* Code 39 の最小長を 2 に設定します

Code 93

有効化/無効化



* コード 93 を有効にする



コード 93 を無効にする

複数回検証する



Code 93 の複数検証を有効にする



* Code 93 の複数検証を無効にする

Code 128

有効化/無効化



* Code 128 を有効にする



Code 128 を無効にする

複数回検証する



* Code 128 の複数の検証を無効にする

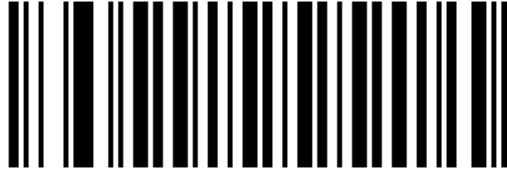


Code 128 の複数の検証を有効にする

ブラジルの銀行モデル



ブラジルの銀行モードを有効にする (Code 128 コード)

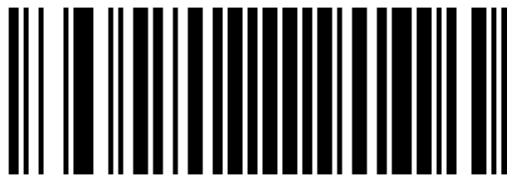


ブラジリアンバンキングモードを無効にする (Code 128 コード)

GS1 DataBar エンコード設定

GS1 DataBar 限定 (RSS 限定)

有効化/無効化



RSS 制限を有効にする



* RSS 制限を無効にする

GS1 データバー全方向 (RSS 全方向)

有効化/無効化



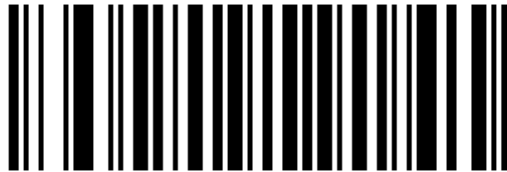
RSS 全方向性を有効にする



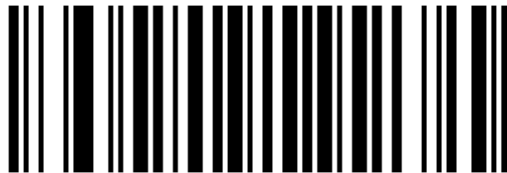
* 全方向 RSS を無効にする

GS1 データバー展開 (RSS 展開)

有効化/無効化



GS1 データバーの展開を有効にする

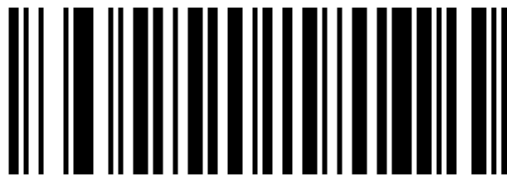


* 拡張された GS1 データバーを無効にする

5 種類のコード設定のうち 2 種類

インターリーブド 2/5 (インターリーブド 25 ヤード)

有効化/無効化



* インターリーブ 25 コードを有効にする



クロスオーバー 25 コードを無効にする

複数回検証する



* クロス 25 コードの複数検証を無効にする



クロス 25 マルチパス検証を有効にする

長さの設定



セットクロス 25 ヤード最小長さ 4

ブラジルの銀行モデル



バンキングモードを有効にする



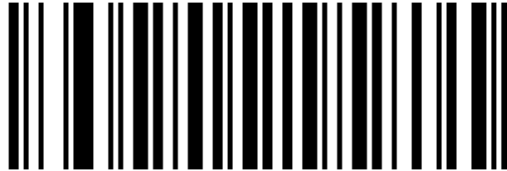
バンキングモードを無効にする

インダストリアル 2/5 (インダストリアル 25 ヤード)

有効化/無効化

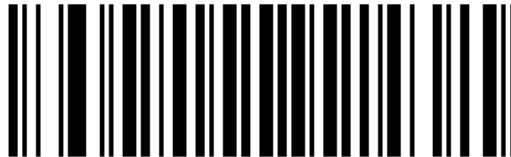


* 工業用 25 コードを有効にする



工業用 25 コードを無効にする

長さの設定



セット工業用 25 ヤード最小長さ 3

マトリックス 2/5 (マトリックス 25 コード)

有効化/無効化

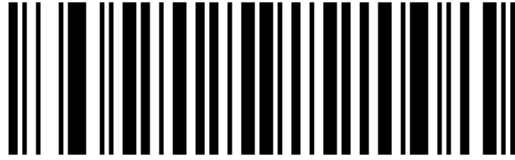


マトリックス 25 コードを有効にする



* マトリックス 25 コードを無効にする

長さの設定



マトリックス 25 コードの最小長 2 を設定します

その他の 1 次元コード設定

China Post

有効化/無効化



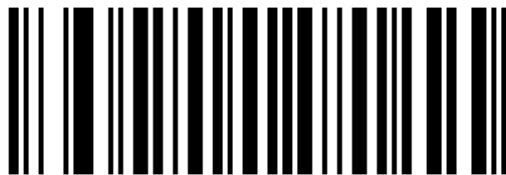
* 中国郵便番号を無効にする



中国郵便番号を有効にする

MSI

有効化/無効化



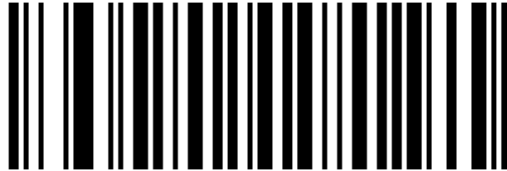
MSI コードを有効にする



* MSI コードを無効にする

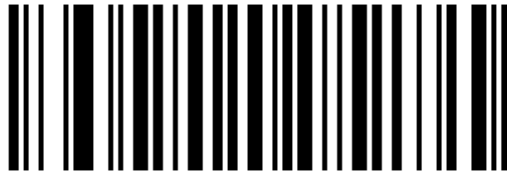


* MSI チェックコードを送信しません



MSI チェックコードを送信する

複数回検証する



* MSI の複数検証を無効にする



MSI 複数検証を有効にする

長さの設定



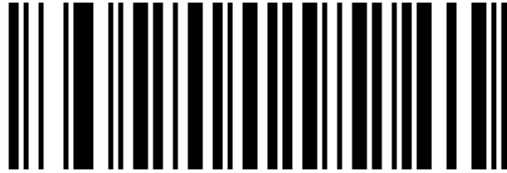
MSI の最小長を 3 に設定します

Plessey / Telepen

有効化/無効化

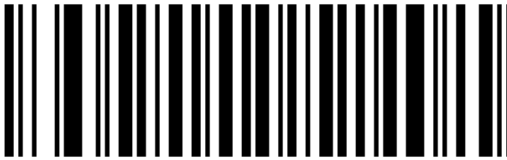


Plessey コードを有効にする



* Plessey コードを無効にする

長さの設定



Plessey/Telepen の最小長を設定 3

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	\$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH		8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

 注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。